

「エコ・ファーストの約束」進捗報告

エコ・ファーストの約束		2024年度実績	取り組みの詳細(HPリンク先)
SKG-5R活動を通じて、資源循環社会の構築に向けた取り組みに注力			
1	使用原料をバージン原料からリサイクル原料または生分解性・バイオマス由来のものに置き換え ★ 2030年目標：50%	リサイクル・バイオマス原料使用比率：18%	➤ リサイクル・バイオマス原料使用比率実績 SKG-5R Report
	プラスチック資源循環法（特例）認定を取得して、発泡スチロールの再資源化活動を全国に展開し、発泡スチロールのリサイクルを推進	2024年3月にプラスチック資源循環促進法に基づく自主回収・再資源化事業計画の第3号認定を取得し、発泡スチロールの自主回収・再資源化事業をスタートしました。同年10月現在、1都1府13県の対象地域（日本人口の約63%に該当）で認定を受けて、自主回収・再資源化活動を推進しています。	➤ 自主回収・再資源化事業計画の認定取得 ➤ 発泡スチロール自主回収活動地域拡大 ➤ 再資源化量実績 統合報告書
	サステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品）の創出と市場拡大 ★2030年度目標：登録累計 100件 売上高比率 50%以上	サステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品）登録累計 ：57件 サステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品）売上高比率：21%	➤ サステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品）登録件数・売上高比率実績 SKG-5R Report
	オフィスでの分別回収を行い、再資源化を推進	オフィスでのごみの分別回収と再資源化に積極的に取り組んでいます。	➤ 次ページ参照
カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを促進			
2	TCFD提言に賛同し、脱炭素社会の実現に向けて気候変動対応を強化するとともに、情報開示の充実を図る	第4回目の情報開示：2025年10月	➤ TCFDに基づく情報開示
	事業活動ならびに製品やサービスのライフサイクル全体で、エネルギー使用量の削減と資源の有効活用を行い、2050年度カーボンニュートラル（CO2排出量を実質ゼロ）を実現	2030年度までに2018年度比でGHG(CO2)排出量を27%以上削減することを目標に掲げ、全グループで取り組んだ結果、この目標を2024年度に前倒しで達成しました。 GHG(CO2)排出量：27%削減（2018年対比） ※2030年度目標を27%から45%以上へ再設定しています。（2025年4月改定）	➤ GHG(CO2)排出量削減実績 SKG-5R Report
	温室効果ガス排出量への取り組みに関する情報について開示（scope1.2.3）	温室効果ガス〔GHG(CO2)〕排出量（Scope1.2.3）合計：627千トン ※日本国内	
持続可能な社会の実現に貢献すべく、環境配慮型経営を実施			
3	環境マネジメントシステムの実施、環境関連の情報開示を充実させるとともに、社会とのコミュニケーションや相互理解に努め、環境配慮型経営を促進	情報開示を充実させるとともに、環境配慮型経営を促進しています。	➤ 統合報告書 2025 ➤ 環境情報開示（環境データ） 統合報告書 2025 ➤ ISO 14001 取得状況
環境教育や環境保全活動などの社会貢献活動を推進			
4	環境モデル事業所でのリサイクル施設見学受け入れや、出張型環境授業の実施による地域への環境学習の機会提供、従業員への環境教育や啓発を継続的に実施	環境保全の取り組みを紹介する発信拠点「ECOアクションギャラリー」を開設し、広く一般の方々に見学いただける体制を整えました。また、小学生や幼稚園児を対象とした出前授業を実施し、環境学習の機会を提供しています。さらに、従業員向けには環境大会を開催し、環境教育や啓発活動にも取り組みました。	➤ ECOアクションギャラリー開設 ➤ 体験型ワークショップを開催 ➤ 次ページ参照
	社内に設置した社会貢献委員会を中心に、従業員による地域清掃活動や、里山保全など環境保全活動への積極的な取り組みを継続	従業員による地域清掃活動や里山保全など、環境保全活動への積極的な取り組みを継続しています。	➤ 自然環境の保全 ➤ 自然環境保護活動に参加

「エコ・ファーストの約束」進捗報告

■ SKG-5R活動を通じて、資源循環社会の構築に向けた取り組みに注力

オフィスでの分別回収を行い、再資源化を推進

【オフィスでのごみ削減とリサイクルへの取り組み】

私たちは、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現を目指し、オフィスでのごみの分別回収と再資源化に積極的に取り組んでいます。

1. オフィスで発生する様々なごみを分別し、迷わず分別できるよう工夫しています。
2. 回収された紙類やペットボトル、発泡スチロールは再資源化しています。
3. 社内回収している発泡スチロールは、定期的に回収量の情報掲示を行いリサイクル意識向上を図っています。

事例紹介：大阪本社



■ 環境教育や環境保全活動などの社会貢献活動を推進

従業員への環境教育や啓発を継続的に実施

【従業員への環境教育】

従業員への環境教育の一環として環境大会を行っています。

2024年度は、勉強会に加えて「環境クイズ大会」や環境への取り組みに対する表彰を行いました。

